

令和7年度

決算報告書

国立大学法人山口大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人山口大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,399	12,803	1,404	(注1)
施設整備費補助金	971	838	△132	(注2)
補助金等収入	756	3,148	2,393	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	-	-	-	
自己収入	37,154	38,386	1,232	
授業料、入学料及び検定料収入	6,070	6,062	△7	(注4)
附属病院収入	29,951	30,922	971	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	1,133	1,401	268	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,778	3,633	855	(注7)
長期借入金	3,436	2,186	△1,249	(注8)
目的積立金取崩	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	0	0	
引当特定資産取崩	-	102	102	
計	56,494	61,100	4,607	
支出				
業務費	46,888	49,886	2,998	(注9)
教育研究経費	18,721	19,446	725	
診療経費	28,167	30,439	2,272	
施設整備費	4,407	2,999	△1,407	(注10)
補助金等	756	1,831	1,075	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,778	2,834	56	(注12)
長期借入金償還金	1,665	1,650	△14	(注13)
計	56,494	59,201	2,707	
収入－支出	0	1,899	1,899	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因運営費交付金及び業務達成基準適用事業に係る前年度からの繰越額及び、予算段階では予定していなかった退職手当や教育・研究基盤維持経費の追加配分が行われたことにより、予算額に比して決算額が1,404百万円増加となりました。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画変更に伴う繰越及び返還が行われたことにより、予算額に比して決算額が132百万円減少となりました。
- (注3) 補助金等収入については、国及び県等からの補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が2,393百万円増加となりました。また、補助金等収入には、授業料等減免費交付金が1,144百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、「高等教育の修学支援新制度」の拡充により入学料収入が減少し、予算額に比して決算額が7百万円減少となりました。
- (注5) 附属病院収入については、高額医薬品や材料の出来高による収入増により、予算額に比して決算額が971百万円増加となりました。
- (注6) 雑収入については、動物治療収入の増加及び内部保有資金の取崩等により、予算額に比して決算額が268百万円増加となりました。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が855百万円増加となりました。
- (注8) 長期借入金については、計画変更により、予算額に比して決算額が1,249百万円減少となりました。
- (注9) 業務費については、高額医薬品や材料の増加及び資材・人件費高騰による変動費や委託費の増加に伴う経費の増加により、予算額に比して決算額が2,998百万円増加となりました。
- (注10) 施設整備費については、(注2)および(注8)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,407百万円減少となりました。
- (注11) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,075百万円増加となりました。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、事業規模が拡大したため、予算額に比して決算額が56百万円増加となりました。
- (注13) 長期借入金償還金については、予算段階で想定していた支払利息見込と差異が生じたため、予算額に比して決算額が14百万円減少となりました。